

学校集金事務の改善

敦賀支部
若手事務職員

学校集金事務って…

- ▶ 各校の独自色が強い
- ▶ 法的根拠が曖昧（準公金）
- ▶ 現金のやり取りを伴う
- ▶ クレームにつながる恐れ

とても難しい事務処理と認識しつつも
よくわからないまま先例主義になってしまう…

気の置けない敦賀市内の若手事務職員で 話し合ってみました

ルール

- ▶ 他校の取り組みを批判しません
- ▶ 現実は見ながらも理想を語ります
- ▶ 褒めるor褒められることで自己肯定感UPしましょう

参加した4校の基本情報

A校

- ▶ 小規模の小中併設校
- ▶ ②社で集金
- ▶ 継続的な未納家庭は無い

C校

- ▶ 中規模の小学校
- ▶ ②社で集金
- ▶ 継続的な未納家庭が存在する

B校

- ▶ 中規模の小学校
- ▶ ②社で集金
- ▶ 継続的な未納家庭が存在する

D校

- ▶ 小規模の小学校
- ▶ ①社で集金
- ▶ 継続的な未納家庭は無い

集金方法の比較（業者編）

①社 … 1校が採用

- ▶ 88円の手数料
- ▶ 全国の金融機関から集金可
- ▶ 年度更新の作業をしてくれる
- ▶ 未納の通知を作ってくれる

②社 … 3校が採用

- ▶ 10円の手数料（振替不能の場合は手数料不要）
- ▶ 当該金融機関の口座のみ集金可
- ▶ 振替の2営業日前まで変更が可能、振替の翌日に結果がわかる
- ▶ 2回集金ができる

集金方法の比較（回数編）

月1回集金 … 3校が採用

- ▶ 未納が続く家庭への連絡が早くなる
- ▶ 現金集金の件数が増える
- ▶ 業者支払いを早くできる

月2回集金 … 1校が採用

- ▶ うっかり入金できていなかった場合のリカバリーができる
- ▶ 現金を扱う件数を減らせる
- ▶ 集金が集まるまで時間がかかる

好評だった改善案をご紹介します①

▶ 集金業者の統一（1校で既に実施中）

D校は進級先の中学校も同じ集金業者を利用しているため小学校から中学校への進級の際に口座登録をやり直す必要がない

市内や中学校区で集金に使う業者が統一されていれば年度当初の事務が軽減される、各家庭においても再度の手続きが不要となるなど余計な手間を強いることがない

好評だった改善案をご紹介します②

▶ 未納家庭の情報を校内で共有

プライバシーやセキュリティに配慮した上で学校の共有フォルダ内に未納者の情報をまとめたデータを作成し、校内で情報を共有する

未納家庭の情報をフリーアクセス化することで確認する手間を省くことができる

家庭状況の変化に気づくサインのひとつにもなる

今後の課題

- ▶ 各校、集金ミスを減らすための確認を丁寧に行っている
- ▶ 未納家庭が多い学校ほど他の教職員との連携が重要となる
- ▶ 硬貨取り扱い手数料の値上がりへの対応が必要となる